



2022年2月17日

各位

会 社 名 株式会社バンダイナムコホールディングス
代 表 者 名 代表取締役社長 川 口 勝
(コード番号 7832 東証第一部)
問 合 せ 先 取締役 経営企画本部長 浅 古 有 寿
(TEL: 03-6634-8800)

「2022年3月期の当社取締役会の実効性に関する評価結果の概要」について

当社は、取締役会の実効性を高め企業価値を向上させることを目的として、2016年3月期より定期的に取り締役会の実効性に関する評価を行い、その結果の概要を公表することとしております。この度2022年3月期の取締役会の実効性に関する評価を行いましたので、その結果の概要を公表いたします。

1. 評価の方法・プロセス

取締役会の実効性を測定するための質問票(※)を環境変化や社会からの要請なども踏まえて作成し、全ての取締役および監査役計16名に対して質問票を配布し、評点およびフリーコメントにて回答を得ました。そのうえで、第三者専門機関による集計結果を踏まえ、社外取締役4名、社外監査役3名の独立役員で構成される会議体「独立役員会」において、結果に基づく分析・検証を行い、取締役会にて現状の評価結果および課題の共有と今後のアクションプランについて、建設的な議論を行いました。

2. 2021年3月期 取締役会の実効性に関する課題への対応

2021年3月期の評価結果においては、当社取締役会は、規模・構成・運営状況等において、経営上重要な意思決定や業務執行の監督を行うための体制が構築されていることを確認しました。また、各構成員が果たすべき役割を十分に理解し、多様な経験や専門性をもつ社外役員を含めて活発な議論が行われていることを確認しました。

一方、課題としては、取締役会の実効性をさらに高めるために、世界視点での方針設定とリスクの把握・モニタリングの強化と、グループ全体が進むべき方向性に関する全体最適視点からの議論の強化を行うべきであるとの提言が得られました。この評価結果を踏まえ、当社では、以下の通り取り組みを行っております。

- ① 世界視点での方針設定とリスクの把握・モニタリングの強化を行うため、各事業と地域のリスクを分析するためのデータベースを作成。
- ② 取締役会に上程された投資案件の進捗報告と投資対象効果の検証報告を実施。
- ③ グループ全体が進むべき方向性に関する全体最適視点からの議論の強化を行うため、役員合宿における討議の充実と情報共有の強化を実施。

3. 2022年3月期 取締役会の実効性に関する評価結果の概要

当社取締役会は、規模・構成・運営状況等において、経営上重要な意思決定や業務執行の監督を行うための体制が構築されていることを確認しました。また、各構成員が果たすべき役割を十分に理解し、多様な経験や専門性をもつ社外役員を含めて活発な議論が行われていることを確認しました。

一方、課題としては、取締役会の実効性をさらに高めるために、世界視点での方針設定とリスクの把握・モニタリングの強化の継続に加え、グループ全体が進むべき方向性に関する全体最適視点からの議論の強化を行うべきであるとの提言が得られました。また、持続可能な社会の実現に向けた責任を果たすため、取締役会としてサステナビリティに関する共通認識を持つとともに今後の方向性や取り組みなどについて議論を行うことが必要だという提言が得られました。

4. 2022年3月期 取締役会の実効性に関する課題への対応

当社取締役会は、この評価結果を踏まえ、以下の通りの取り組みを行います。

- ① 世界視点での方針設定とリスクの把握・モニタリングの強化を継続して実施します。
- ② グループ全体が進むべき方向性に関する全体最適視点からの議論の強化を行う役員合宿における討議の充実と情報共有の強化を継続します。また、2023年3月期より全役員が参加する会議体（仮称：Vision Meeting）を新設し、グループにおける中長期の課題やテーマについてさらに深掘りした議論を行います。
- ③ 取締役会としてサステナビリティに関する共通認識を再確認するため、外部アドバイザーとのディスカッション等を実施したうえで新設会議体（仮称：Vision Meeting）にて今後の方向性や具体的な取り組みなどについてさらなる討議を実施いたします。

※取締役会質問票の大項目

- ・企業戦略の決定とゴール設定
- ・潜在的リスクの理解と対応
- ・健全な意思決定
- ・ステークホルダーへの対応
- ・経営資源、執行のモニタリング
- ・役割貢献、リーダーシップ
- ・取締役会の構成
- ・取締役会の運営
- ・ボードカルチャー
- ・自由記述（取締役会および取締役が果たすべき役割、事業会社の執行の監督、海外における事業執行の監督
I P 軸戦略、人材戦略、サステナビリティ、取締役会評価のありかた）

以 上